

ごみ分別・収集体制（案）

1. 分別・収集体制の検討

令和 15 年度新施設稼働に合わせて本格実施する将来のごみの分別・収集体制を検討する。実施時期については、国や県の法令や、両市町の現施設の稼働状況に合わせて柔軟に対応する。

新たな分別・収集体制については、現状の分別区分ごとに上尾市と伊奈町の概要を整理したうえで、国の方向性に合致し、より質の高い資源化が達成できること、効率的な共同処理が実施できること等を考慮して総合的に判断し、分別区分の大枠となる統一案を検討する。

特にプラスチックごみについては、分別・収集の準備を進めながら、今後の国の動向や技術革新を踏まえて最適な処理が行えるよう検討していく。また、その他のごみの統一案についても、今後検討する新施設の処理工程や整備内容によって適宜検討するものとする。

また、ごみの有料化については、廃棄物処理法の基本方針において市町村はごみ処理有料化を推進するべきと明確化されており、分別・収集体制と密接していることからその効果を含め検討していく。

2. 分別・収集体制の検討項目について

1) 分別体制について

分別体制については、次の項目について検討した。検討内容については、次ページ以降に記載する。

【分別】

○名称

全体を通して統一された用語を用い、かつ具体的な品目がイメージでき、住民にとってわかりやすい名称とする。

○内容等

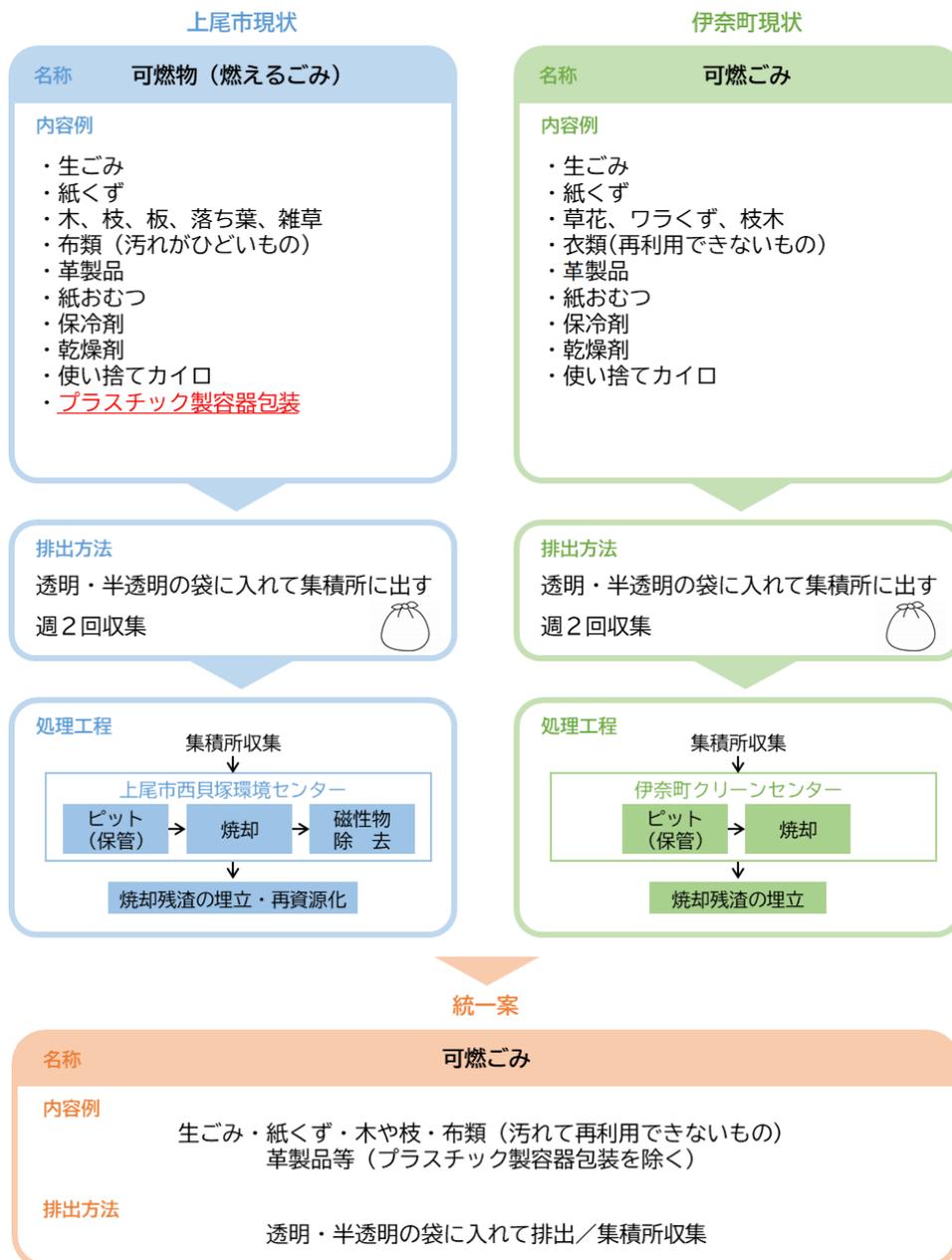
本検討では、大枠の排出内容・ルールについて統一する（例：可燃ごみにプラスチック製容器包装を含まないなど）。詳細区分については多くの差異が認められる（例：ダウンジャケットが可燃ごみか古着か）ため、今後の検討課題とする。

○排出方法（容器）

ごみを集積所に出す場合であれば、両市町とも透明・半透明袋を用いることを前提としているが、ごみによっては紐で束ねたり専用ケース等に入れて出すなどルールが異なる事項があることから、排出の容器について検討する。

(1) 可燃ごみ

現状は名称が異なっているが、両市町とも「可燃」という言葉を用いていることから、「可燃ごみ」に統一する。また、上尾市は、令和4年度施行予定のプラスチック資源循環促進法を踏まえ、これまで「可燃物（燃えるごみ）」の対象としていた「プラスチック製容器包装」を新たに分別する。現時点では「プラスチック製容器包装」のみを分別対象としているが、今後の国の方針に併せてプラスチック製品を分別する場合は、柔軟に対応する。



※プラスチック製品を分別する場合は、今後の国の方針に併せて柔軟に対応する。

図1 可燃ごみの分別体制

(2) 不燃ごみ

名称が異なっているが、可燃ごみと対比させ、「不燃ごみ」に統一する。また、ビン類の資源化を促進するため、上尾市は、これまで「ビン類」と併せて分別していた「割れガラス」や「鏡」を、「不燃ごみ」として排出することに変更する。伊奈町は、これまで「不燃ごみ」の対象としていた「小型家電」について、分別・収集方法等を検討している。

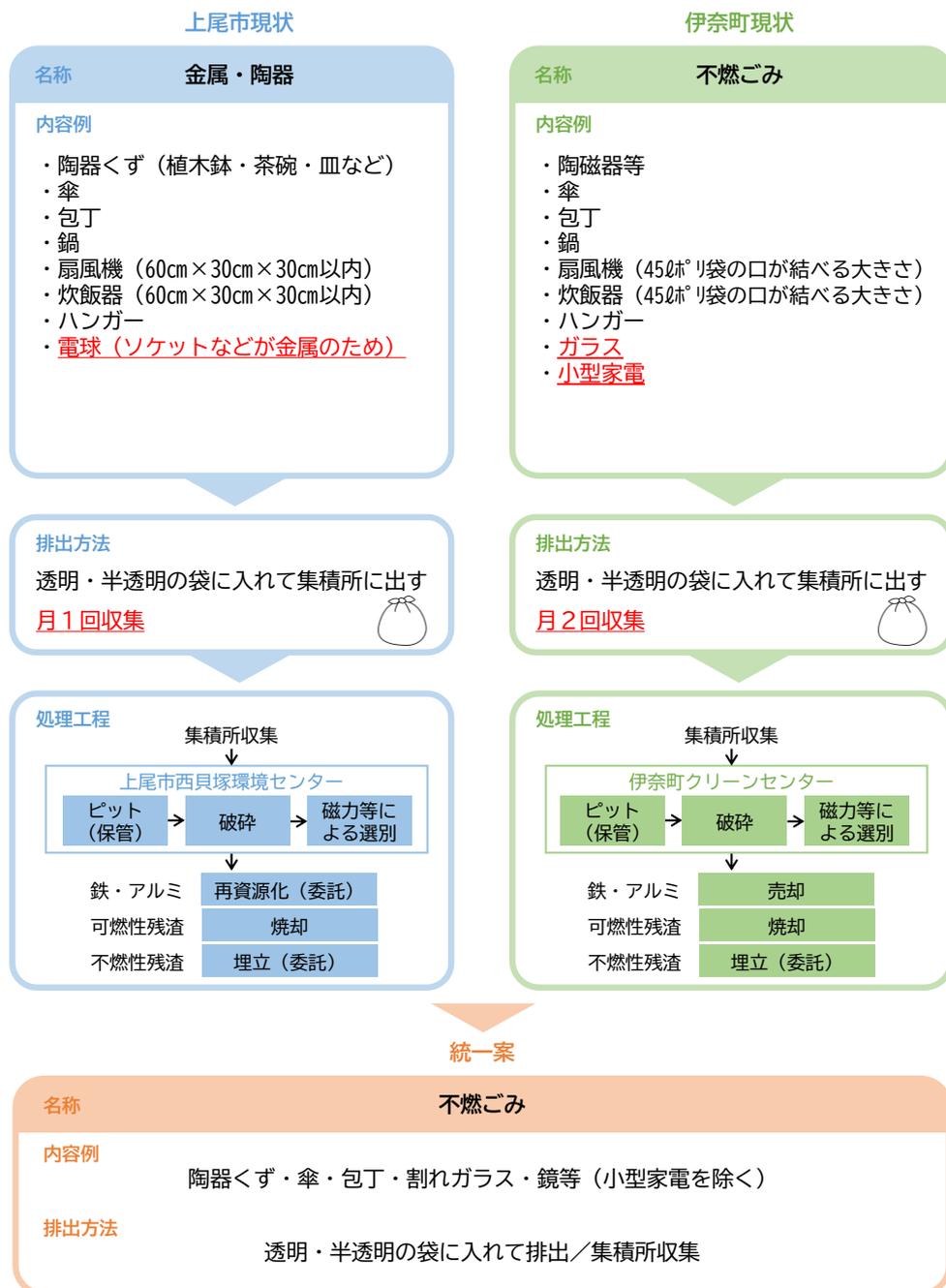


図2 不燃ごみの分別体制

(3) 飲料缶・スプレー缶

名称が異なっており、具体的な品目がイメージできる名称とすることが望ましいため、「飲料缶・スプレー缶」に統一する。また、上尾市では、スプレー缶と飲料缶を別の袋に入れて排出しているが、伊奈町では同じ袋に入れて排出しており、新資源化施設の処理形式に併せて決定するように検討を進める。

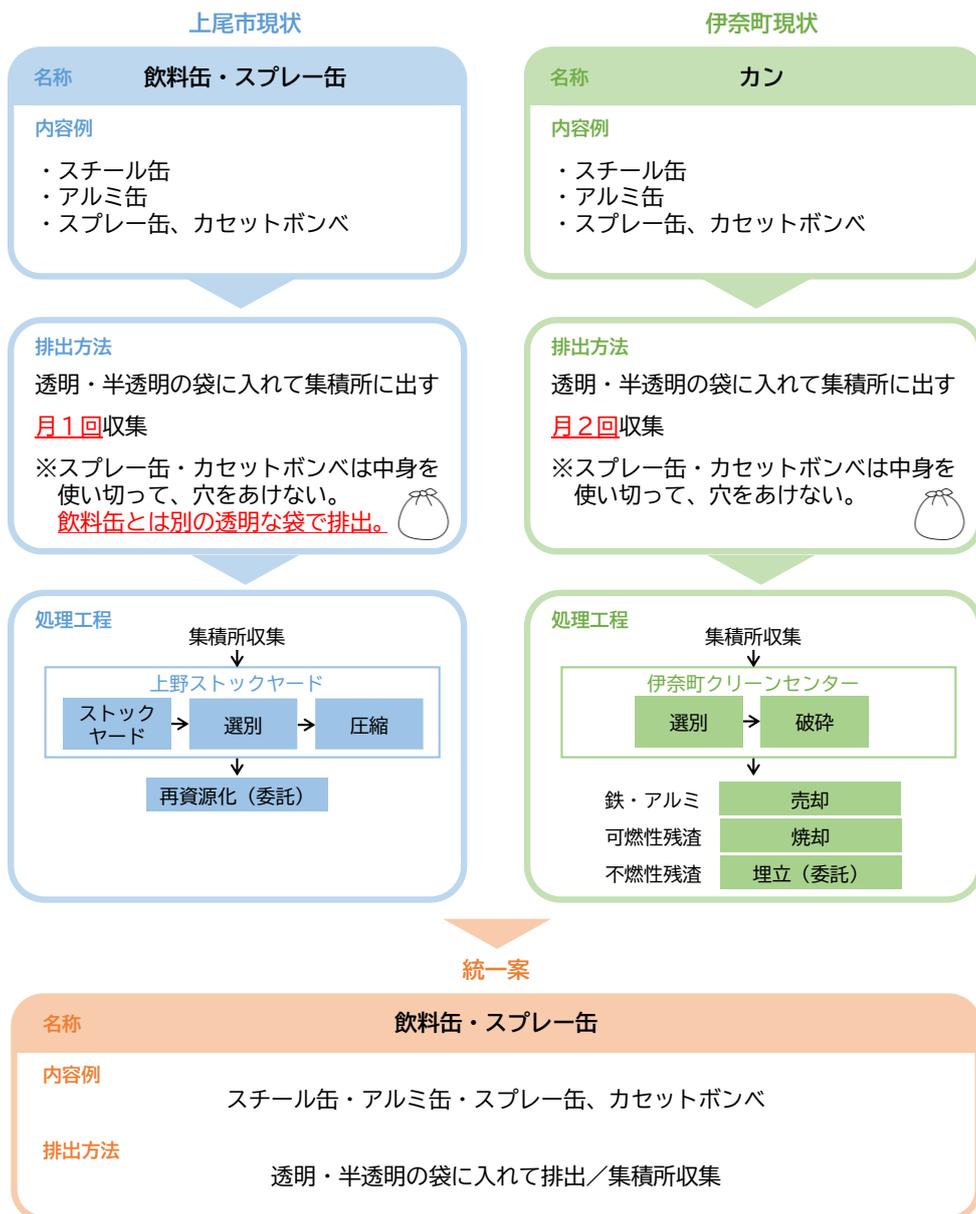


図3 飲料缶・スプレー缶の分別体制

(4)ペットボトル

ペットボトルの分別・収集体制は両市町とも同じであるため、調整不要であり、引き続き同様の分別収集体制とする。

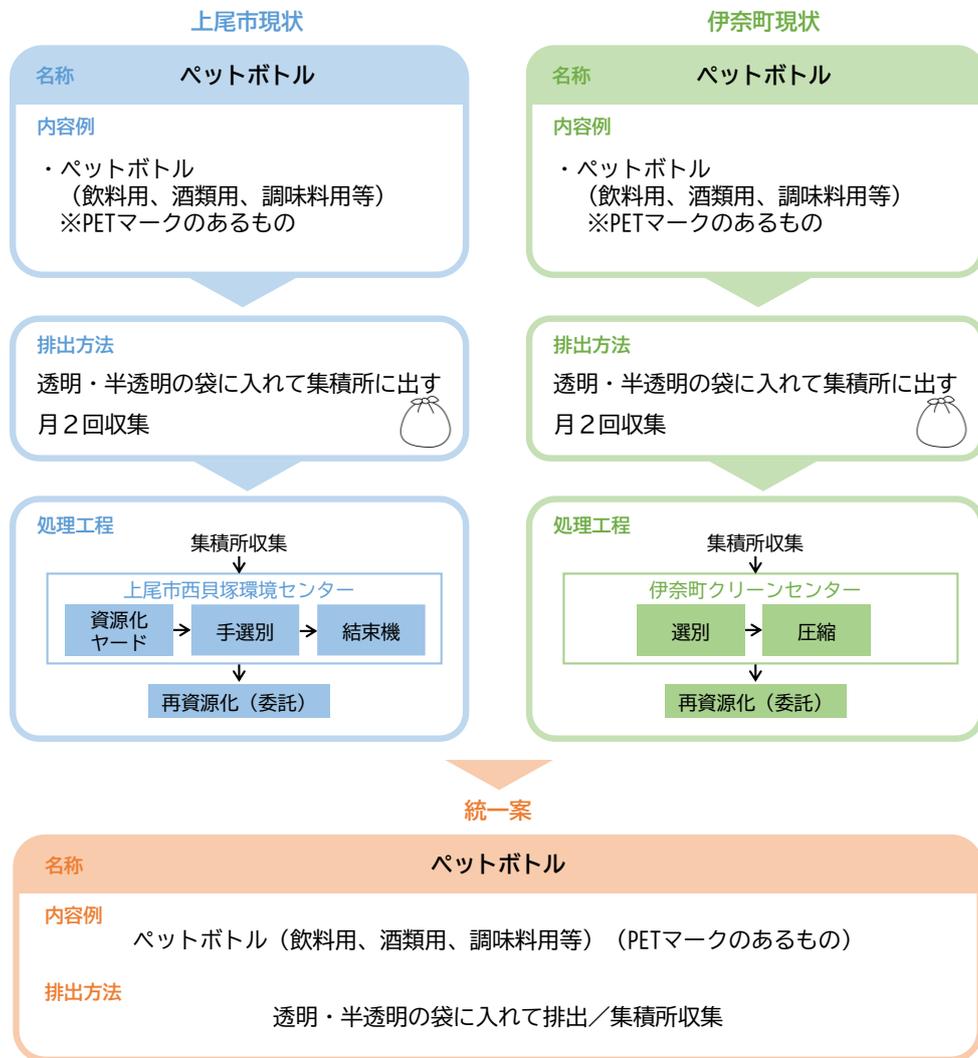
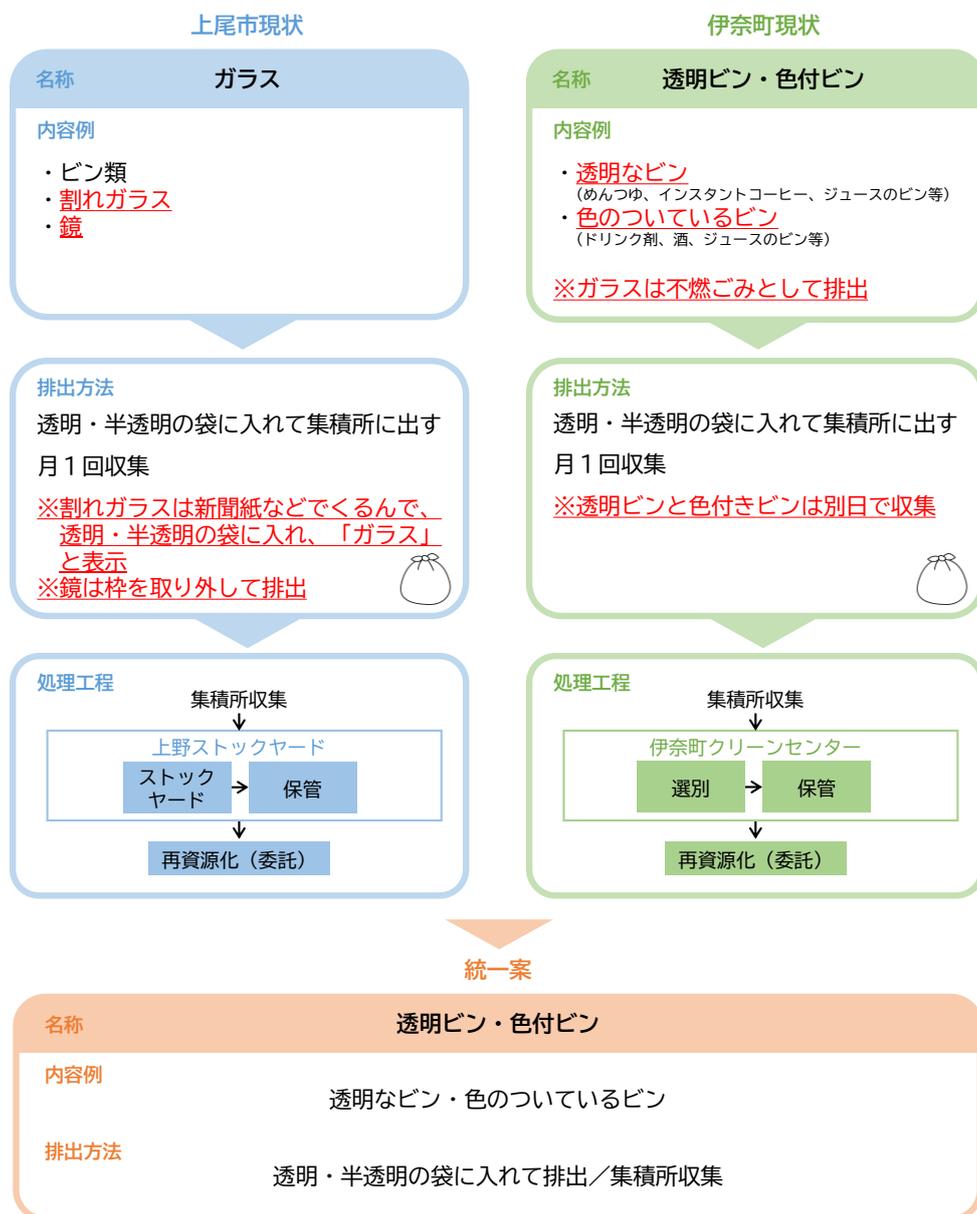


図4 ペットボトルの分別体制

(5)ビン

資源化を促進するため、ビンのみを透明ビンと色付ビンに分別するため、名称を「透明ビン・色付ビン」に統一する。また、上尾市は、これまで「ビン類」と併せて分別していた「割れガラス」や「鏡」を、「不燃ごみ」として排出することに変更する。なお、今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。

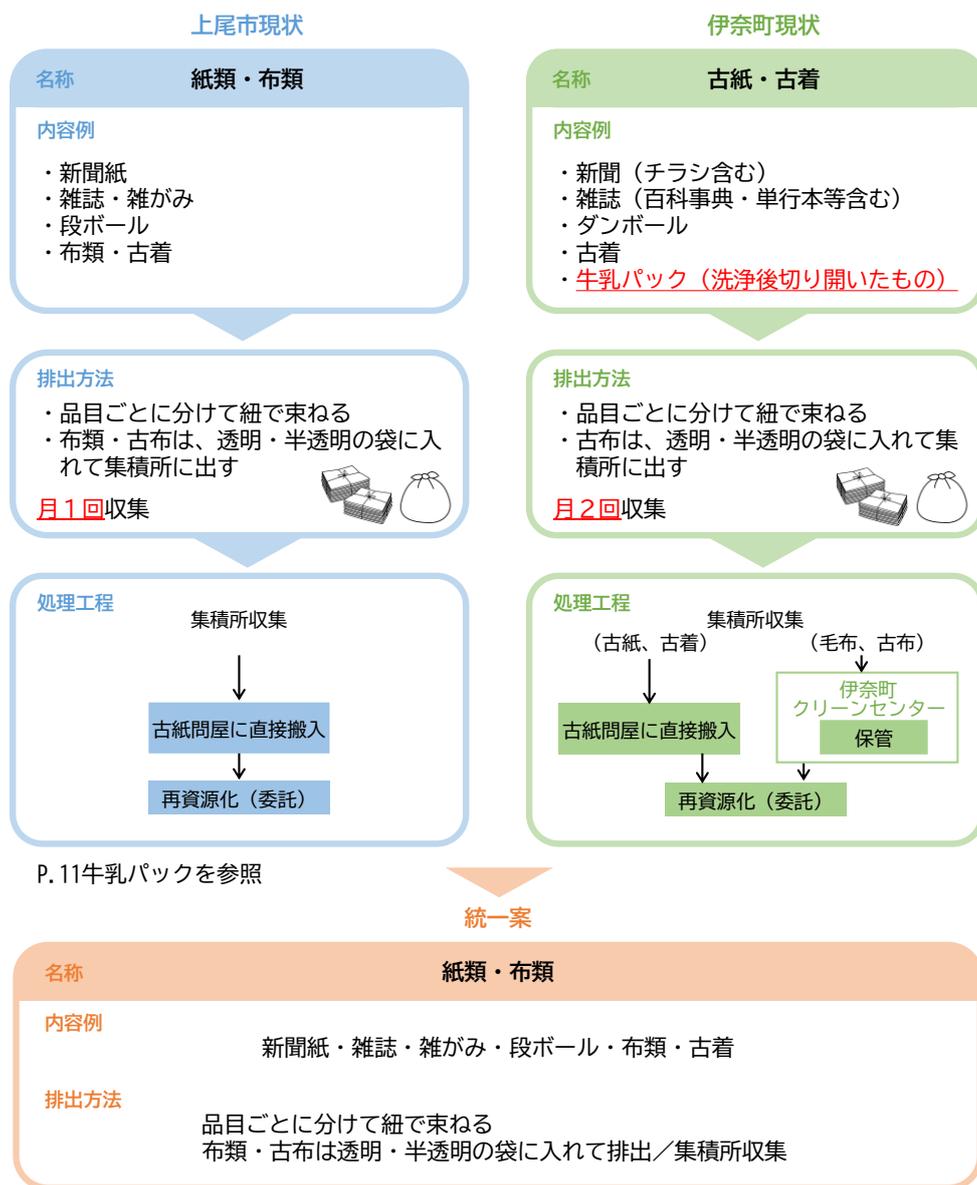


※今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。

図5 ビンの分別体制

(6)紙類・布類

名称が異なっており、住民にわかりやすい名称にするため、「紙類・布類」に統一する。
 なお、牛乳パックは、上尾市では拠点回収、伊奈町では古紙・古着として収集しているが、引き続き現在の分別・収集体制を継続するものとし、今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。



※今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。

図6 紙類・布類の分別体制

(8)牛乳パック

牛乳パックは、上尾市では拠点回収、伊奈町では古紙・古着として収集しているが、両市の処理工程はいずれも古紙問屋に搬入し資源化していることから、引き続き現在の分別・収集体制を継続するものとし、今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。

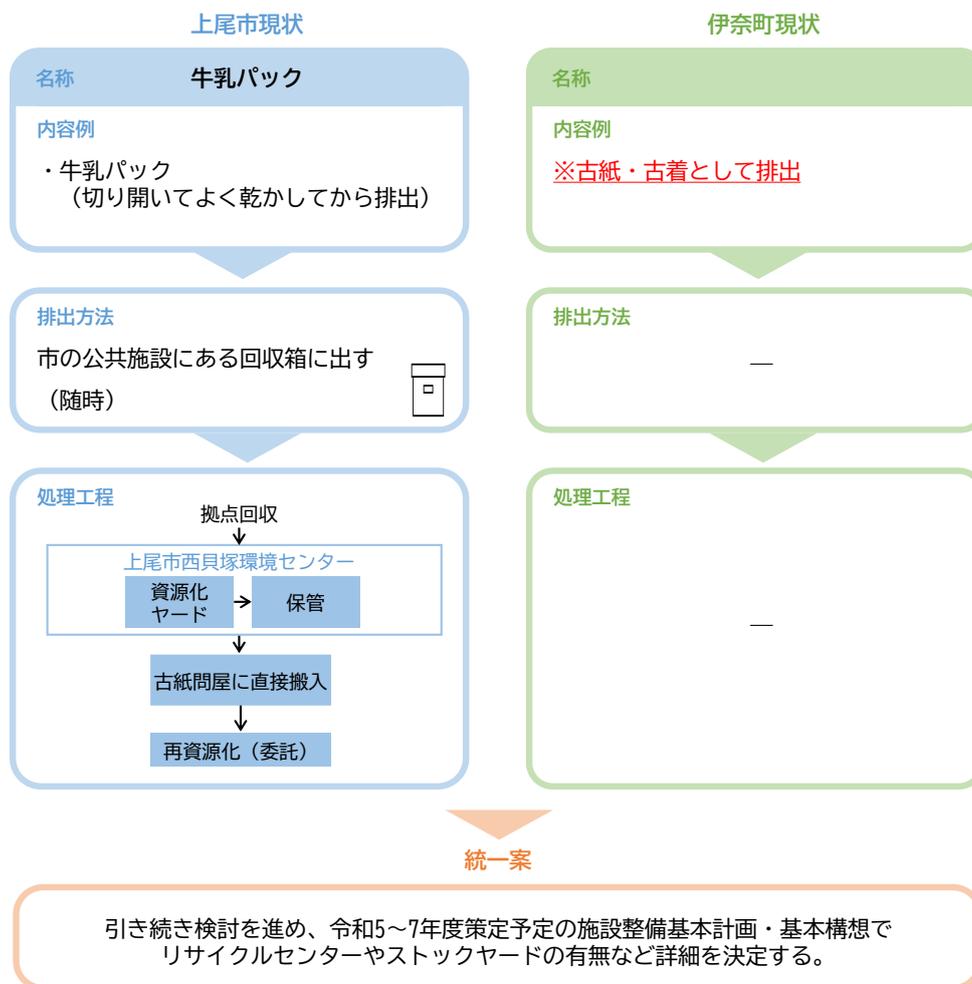


図8 牛乳パックの分別体制

(9) 蛍光管・水銀計・電球

蛍光管・水銀計・電球は、上尾市では拠点回収、伊奈町では拠点回収と併せて蛍光管・水銀計・電球として収集しているが、両市町の処理工程はいずれも破碎や選別後に資源化していることから、引き続き現在の分別・収集体制を継続するものとし、今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。

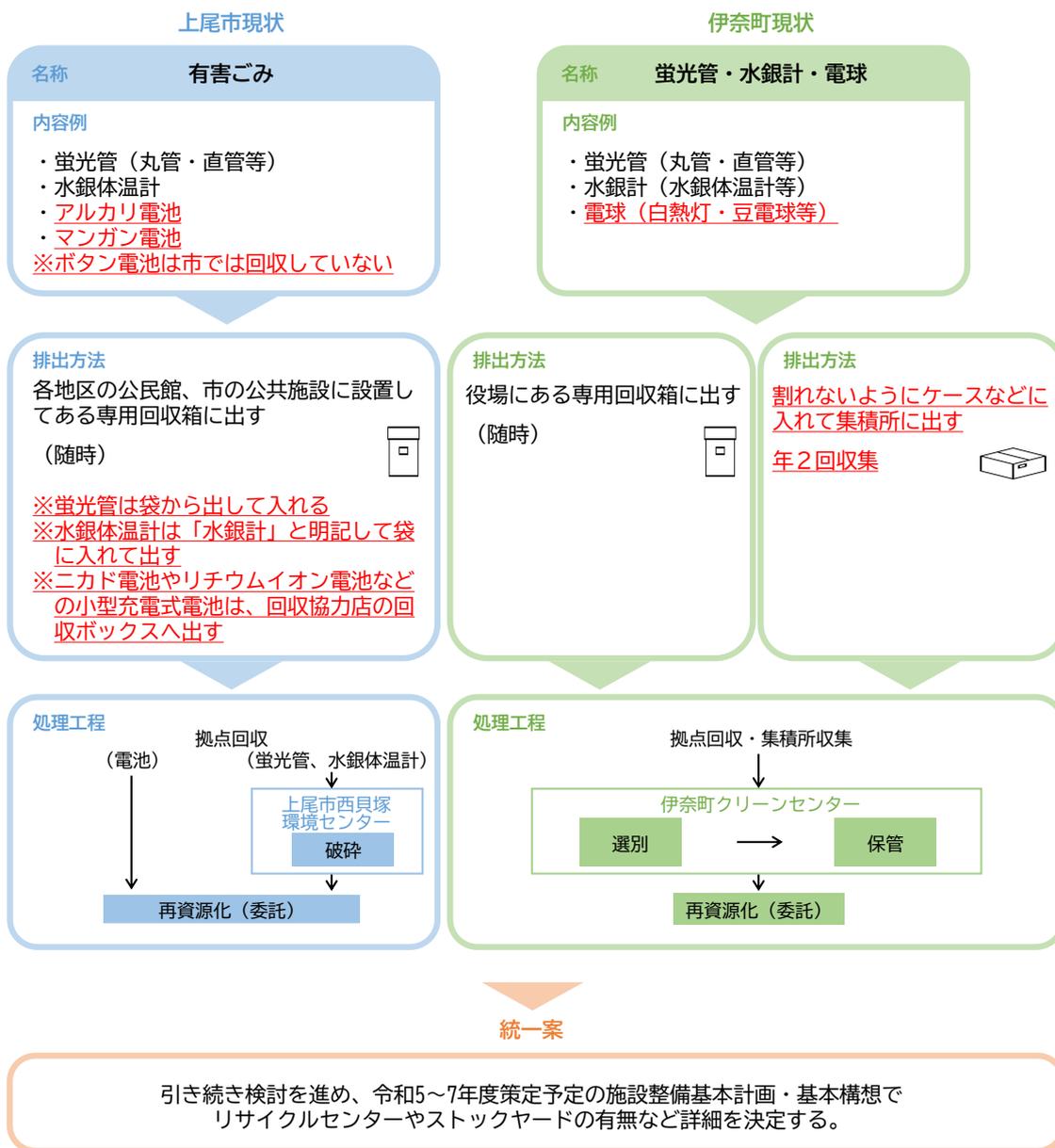


図9 蛍光管・水銀計・電球の分別体制

(10) 廃乾電池

上尾市では「有害ごみ」として拠点回収し、伊奈町では拠点回収と併せて「廃乾電池」という名称で収集しているが、両市町の処理工程はいずれも破碎や選別後に資源化していることから、引き続き現在の分別・収集体制を継続するものとし、今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。

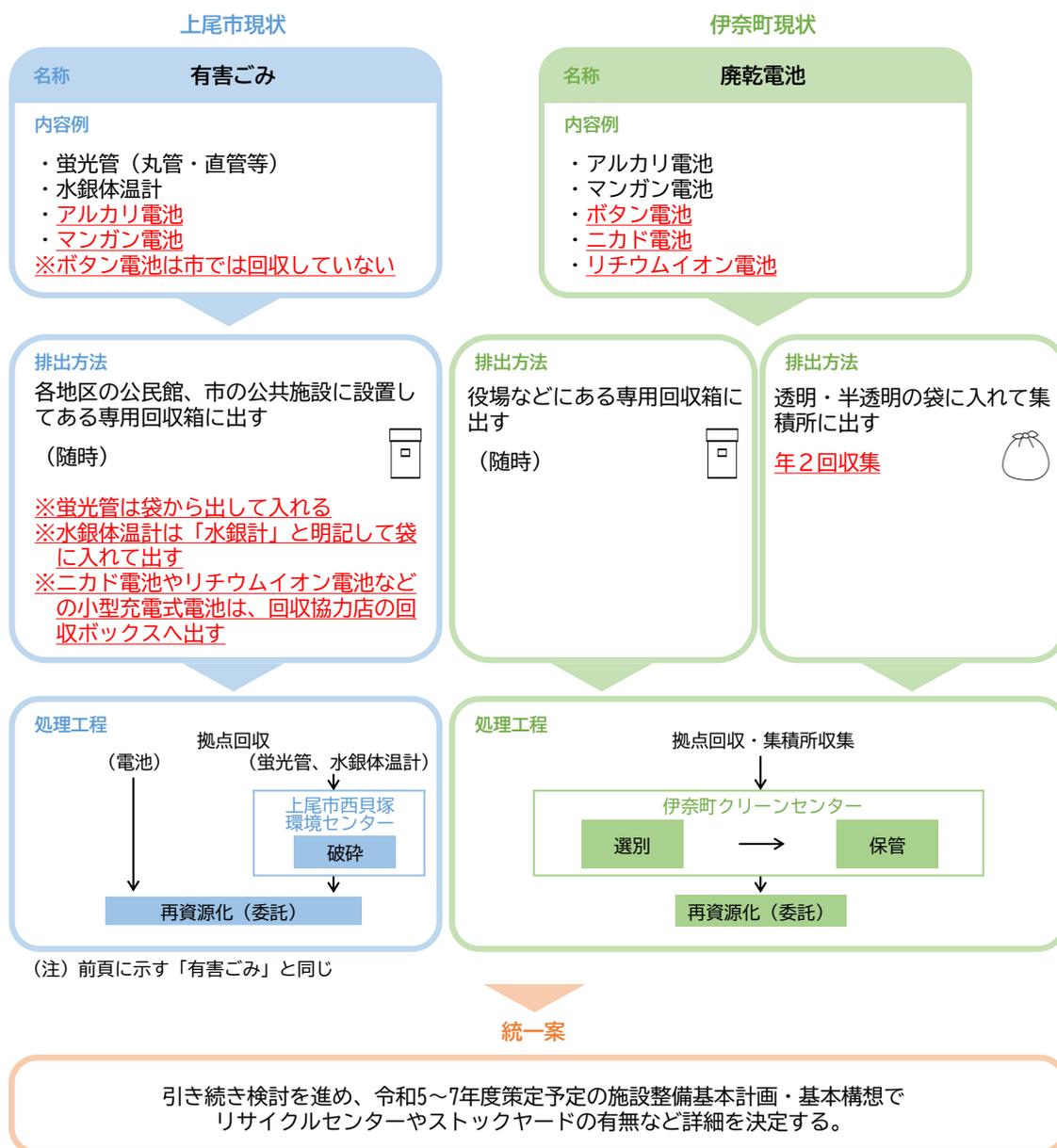


図 10 廃乾電池の分別体制

(11)ライター

上尾市では「ライター」として拠点回収し、伊奈町では拠点回収と併せて「ライター」として収集しているが、両市町の処理工程はいずれも破碎や選別後に資源化していることから、引き続き現在の分別・収集体制を継続するものとし、今後、新施設の処理工程や整備内容によって、適宜検討するものとする。

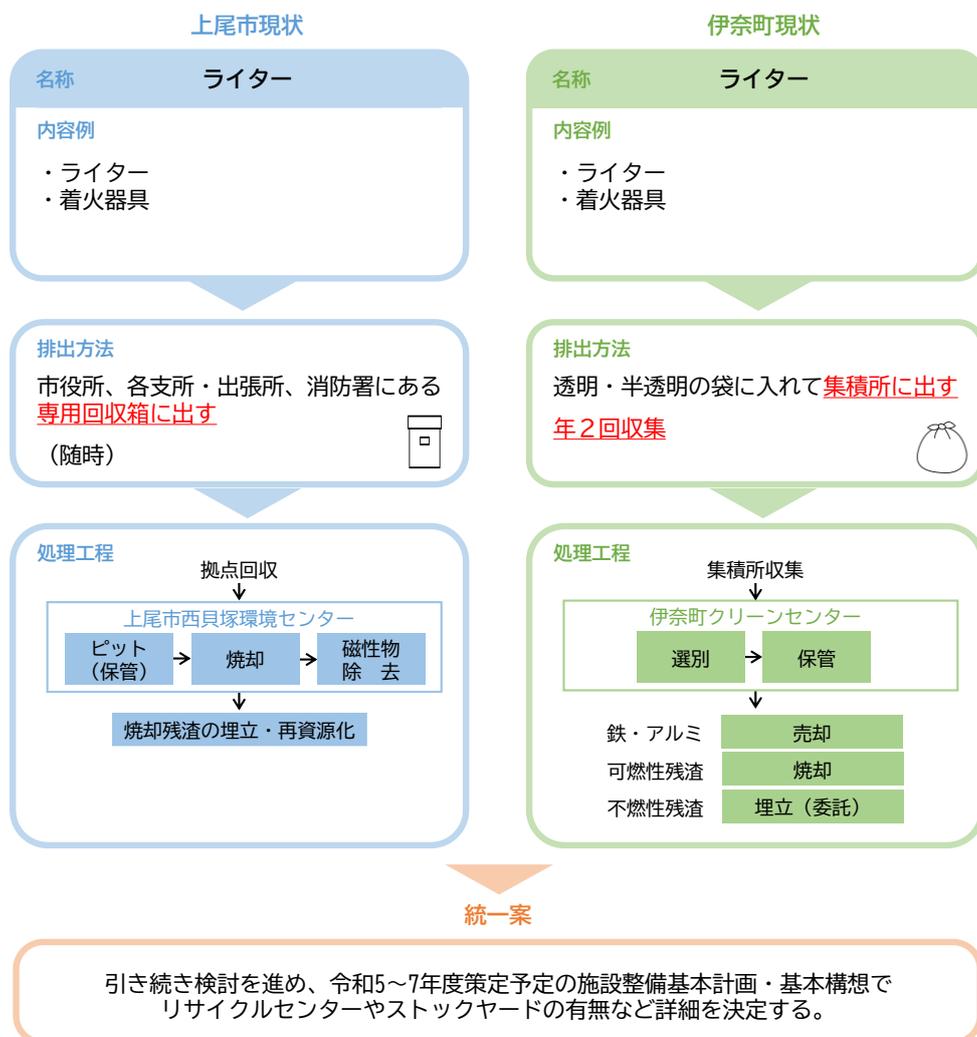


図 11 ライターの分別体制

(12)粗大ごみ

「粗大ごみ」の対象について、大枠では、上尾市では「60cm×30cm×30cmを超えるごみ」、伊奈町では「45ℓのポリ袋の口が結べない大きさのごみ」としており、大きさの基準が異なっていたため、「不燃ごみ」の規定と併せて、統一する。また、ごみの種類ごとの詳細な区分は、処理方式や施設整備を決定後、それに併せて両市町で統一の可否も踏まえて検討する。

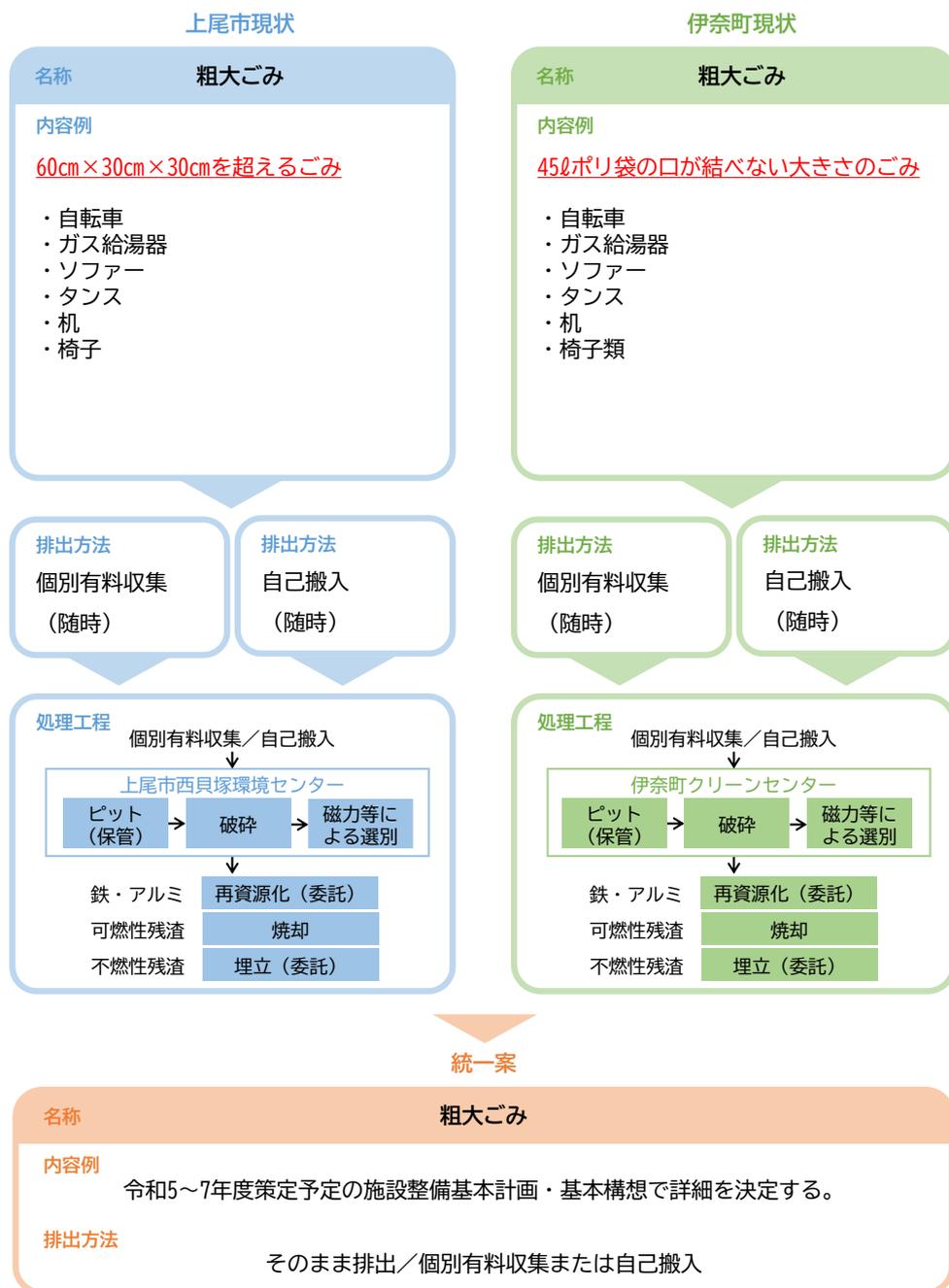


図 12 粗大ごみの分別体制

(13)小型家電

上尾市は拠点回収と含めて、令和3年7月から小型家電の集積所回収を開始している。伊奈町においては、これまで「不燃ごみ」の対象としていたが、全国的に小型充電式電池が原因による火災が発生していることから、小型家電の取り扱いを調整中である。このことを踏まえ、両市町で分別を検討する。

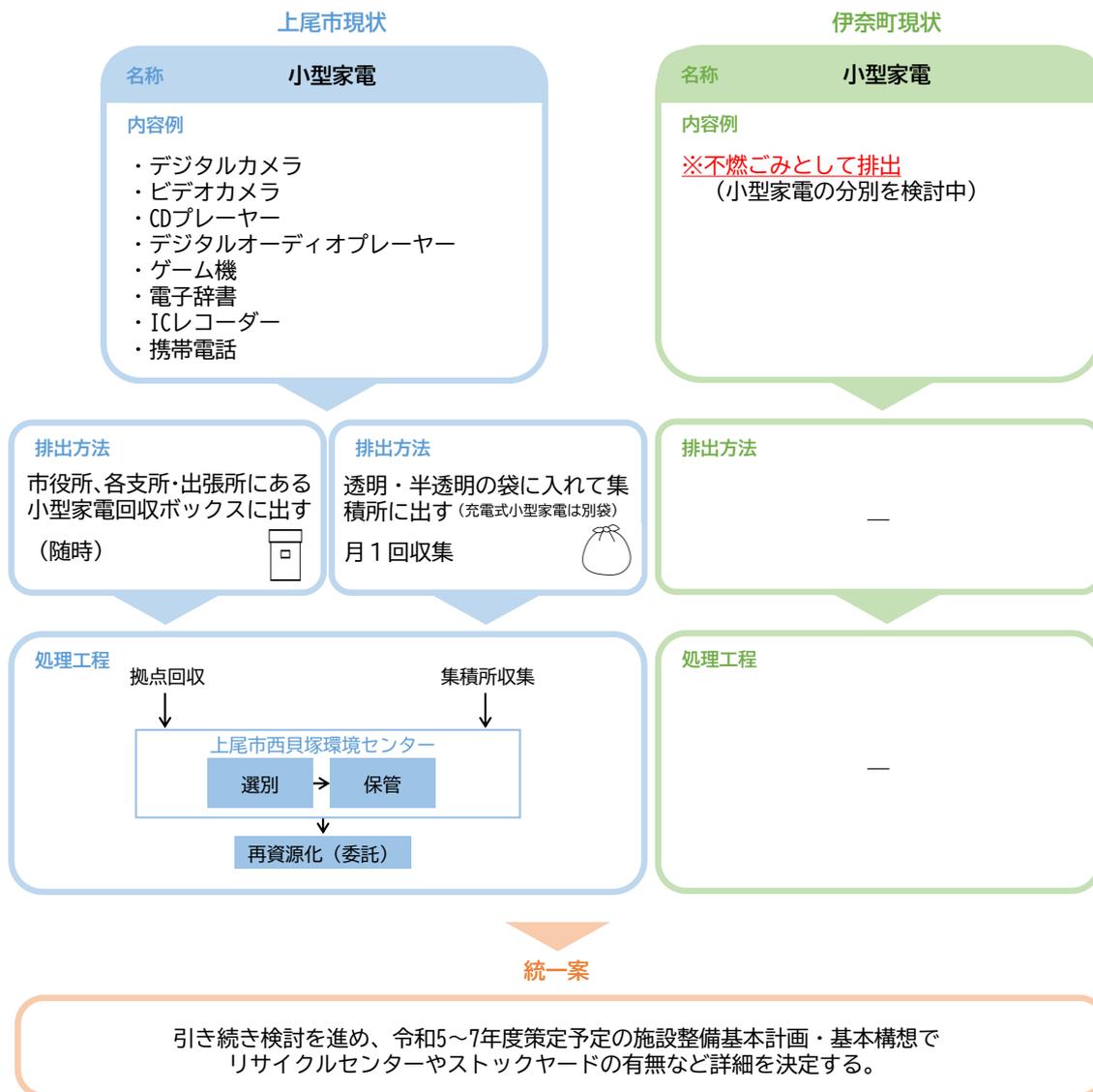


図 13 小型家電の分別体制

以上により設定した分別体制の統一案を、以下に整理する。

なお、牛乳パック、蛍光管・水銀計・電球、廃乾電池、ライター、小型家電は、引き続き検討を進め、令和5～7年度策定予定の施設整備基本計画・基本構想でリサイクルセンターやストックヤードの有無など詳細を決定する。

表1 分別体制の統一案

名称		内容例	排出方法		備考
			容器	収集方法	
可燃ごみ		生ごみ・紙くず・木や枝・布類（汚れて再利用できないもの）・革製品等（プラスチック製容器包装を除く）	透明・半透明の袋に入れて排出	集積所収集	プラスチック製品については柔軟に対応していく
不燃ごみ		陶器くず・傘・包丁・割れガラス・鏡等（小型家電を除く）			—
資源物	飲料缶・スプレー缶	スチール缶・アルミ缶・スプレー缶、カセットボンベ			—
	ペットボトル	ペットボトル（飲料用、酒類用、調味料用等）（PETマークのあるもの）			—
	透明ビン・色付ビン	透明なビン・色のついているビン			—
	紙類・布類	新聞紙・雑誌・雑がみ・段ボール・布類・古着	品目ごとに分けて紐で束ねる 布類は透明・半透明の袋に入れて排出	—	
	プラスチック製容器包装	ペットボトルのキャップ・ラベル・食品包装用のトレイ等（プラマークのあるもの）	透明・半透明の袋に入れて排出	プラスチック製品については柔軟に対応していく	
粗大ごみ		粗大ごみの大枠の規定を検討する	そのまま排出	個別有料収集または自己搬入	処理方式や施設整備を踏まえて詳細区分を検討する

また、両市町のごみの現在の分別体制と統一後の変更点を以下のとおり記載する。

表2 上尾市の現分別体制との変更点

項目	現体制	統一後
可燃ごみ	【名称】 可燃物	【名称】 <u>可燃ごみ</u>
	【内容】 生ごみ・紙くず・木や枝・布類（汚れがひどいもの）・革製品、プラスチック製容器包装等	【内容】 生ごみ・紙くず・木や枝・布類（汚れて再利用できないもの）・革製品等（ <u>プラスチック製容器包装を除く</u> ）
不燃ごみ	【名称】 不燃物	【名称】 <u>不燃ごみ</u>
	【内容】 陶器くず・傘・包丁等（小型家電を除く）	【内容】 陶器くず・傘・包丁・ <u>割れガラス・鏡</u> 等（小型家電を除く）
ビン	【名称】 ガラス	【名称】 <u>透明ビン、色付ビン</u>
	【内容】 ビン、割れガラス、鏡	【内容】 <u>透明なビン・色のついているビン</u>
プラスチック製容器包装	（新設）	【名称】 <u>プラスチック製容器包装</u>
	（新設）	【内容】 <u>ペットボトルのキャップ・ラベル・食品包装用のトレイ等（プラマークのあるもの）</u>

表3 伊奈町の現分別体制との変更点

項目	現体制	統一後
飲料缶・スプレー缶	【名称】 カン	【名称】 <u>飲料缶・スプレー缶</u>
紙類・布類	【名称】 古紙・古着	【名称】 <u>紙類・布類</u>

2) 収集体制について

収集方法、収集回数については、両市町で差異がある区分もあるが、両市町のごみ減量の施策や、すでに実施されている住民サービスなどの関連性もある。そのため、収集業務は、上尾市域は上尾市、伊奈町域は伊奈町が実施するものとし、安定的かつ効率的な収集体制について引き続き検討を進める。また、排出ルールによって混載して収集することが望ましい場合も考えられるため、併せて引き続き検討を進める。

表4 収集回数と混載の有無（現状）

分別区分	収集回数		混載の有無
	上尾市	伊奈町	
不燃ごみ	月1回	月2回	
飲料缶・スプレー缶	月1回	月2回	スプレー缶と飲料缶を別の袋に入れて排出する場合は、混載して収集する必要がある
ビン	月1回	透明ビン 月1回 色付ビン 月1回	
紙類・布類	月1回	月2回	
プラスチック製容器包装	(可燃物として排出)	週1回	
牛乳パック	(拠点回収)	(古紙として排出)	
蛍光管・水銀計・電球		年2回	
廃乾電池		(拠点回収を併用)	
ライター			
小型家電	月1回 (拠点回収を併用)	(不燃ごみとして排出) ※検討中	

3) 詳細区分の検討について

ごみの詳細区分については、上尾市は「ごみ分別事典」、伊奈町は「ごみの分別アイウエオ表」にて住民に周知している。これらを整理すると、両市町のごみの詳細区分及びその処理方法に差異があるものが多数存在する。

(例) 焼却しているかどうか

ごみ	上尾市	伊奈町
輪ゴム	可燃物	不燃ごみ
ダウンジャケット	可燃物	古着

(例) 処理困難物かどうか

ごみ	上尾市	伊奈町
タイヤ	自己搬入 ※4本まで	処理困難物 ※業者、販売店へ相談
オルガン	処理困難物 ※業者、販売店へ相談	粗大ごみ

ごみの詳細区分については、新施設の整備内容や処理方式に併せて検討する。

4) まとめ

令和5～7年度策定予定の施設整備基本構想・基本計画において、新施設の整備内容や処理方式を検討する予定である。本検討で示した方向性を前提条件とし、施設整備基本構想・基本計画において具体的な分別・収集体制を示すものとする。

なお、その際は、他市町村の事例を研究し、かつ、将来的な資源化技術の革新を見込み、時代に即した最適な資源化方法を採用する。特に、プラスチック製容器包装については、プラスチックに係る資源循環促進法が令和4年度施行予定であるため、製品プラスチックを含めたプラスチック資源については、国の動向を注視し、柔軟に対応していく。

3. 住民周知について

1) 実施時期

広域化に向けた工程と分別区分等の住民周知の時期は表5のとおりである。本格実施までに十分な周知・習熟期間を設ける必要があるため、新たな分別・収集体制は「施設整備基本計画」策定時期である令和7年度ごろに決定する必要があり、住民説明会の開催や、広報等による周知を経て、暫定的実施、本格実施へと丁寧に進めていくこととする。

なお、実施時期や内容は進捗状況等により適宜見直す。

表5 広域化に向けた工程と分別区分等の住民周知

区分\年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
広域化に向けた工程	広域ごみ処理基本計画	新施設整備に向けて調整・統一すべき条件やルールを明らかにする													
	一般廃棄物処理基本計画（改訂）			両市町のごみ処理方針を規定する											
	施設整備基本構想				施設更新の前提条件、処理方式、設備・施設配置計画、事業手法、財政計画を立案する										
	施設整備基本計画				施設の基本条件、施設整備基本構想に基づく各種施設計画及び事業計画を立案する										
	設計・申請・業者選定														
建設工事															
施設の稼働	上尾市西貝塚環境センター														
	伊奈町クリーンセンター														
	広域施設														
分別区分等の住民周知等	分別区分・排出方法の決定						◎								
	住民説明の実施														
	広報・周知														
	新たな分別区分の暫定的実施														
	新たな分別区分の本格実施														

2) 広報及び啓発手法について

新たな分別区分・排出方法については広報及び啓発が重要であると認識しており、以下の手法等を検討する。

(1) 分別・排出の仕方に関する説明会の実施

○両市町ごとに、自治会長や区長、環境美化推進員及び衛生委員を対象とし、分別や排出の仕方の変更点について説明会を実施する。

(2)分別・排出の仕方を説明した「ごみ収集マニュアル」の作成・配布

- 両市町ごとに、ごみ収集カレンダーと併せて、分別や排出の仕方の変更点をまとめた「ごみ収集マニュアル」を作成し、全戸配布を行う。
- 分別・収集体制案に関わらず住民にわかりやすく改善されるものであれば、「ごみ収集マニュアル」に適宜引用する。
- 地域特性や障害の特性に配慮したマニュアル作成を検討する。
- 周知方法としては、両市町の広報誌、ホームページ等を活用し、周知していく。
- ごみ出しカレンダーアプリ（さんあーる等）の利用を検討していく。

(3)ごみ集積所への掲示

- 両市町ごとに、新たな分別や排出の仕方を示した看板をごみ集積所へ掲示する。

(4)職員による集積所パトロール

- 暫定的実施開始後数か月は重点的周知期間とし、職員による集積所パトロールを行い、自治会長や区長、環境美化推進員及び衛生委員とも連携していく。

(5)不適正排出への対応

- 新たな分別区分や排出方法を知らない人が多い場合は、効果的な広報及び啓発手法を検討する。特に行政の情報が行き届きにくい自治会未加入者、単身世帯、外国人等への対策を検討する。
- 新たな排出方法を誤って理解している人が多い場合には、自治会と連携し個別に対応するとともに、誤りの事例を広報誌等に記載し、注意を促す。
- 新たな分別区分や排出方法が守られない場合は、従来の手法を継続してごみの取り残し（収集しない）やルール違反シールの貼り付け等の措置を行い、排出者に正しく分別してもらうように促していく。

4. ごみ処理の有料化について

1) 埼玉県内自治体の状況

埼玉県内で家庭系可燃ごみの有料化をしている自治体の料金水準を、表6に整理した。袋のサイズは15リットル袋～45リットル袋まであり、いずれの自治体も3～4種類のサイズ展開をしている。

表6 埼玉県内における家庭系可燃ごみ有料化の料金水準

	450袋		350袋		300袋		200袋		150袋	
	1枚 あたり	10 あたり								
秩父広域市町村圏組合	—	—	35	1.00	—	—	20	1.00	15	1.00
加須市	25	0.56	—	—	17	0.57	11	0.55	7	0.47
蓮田白岡衛生組合	48	1.07	—	—	38	1.27	28	1.40	—	—
幸手市	50	1.11	—	—	35	1.17	—	—	15	1.00
杉戸町	40	0.89	—	—	30	1.00	20	1.00	—	—
10あたり平均	0.94									
10あたり最大	1.40									
10あたり最小	0.47									

参考：家庭系一般廃棄物排出量単純比例型※における都道府県別料金水準

都道府県	新規導入 市町村数	平均 / L 当たり単価
北海道	8	1.82
東北	9	1.03
関東	14	1.50
中部	12	0.91
近畿	8	0.84
中国	4	0.73
四国	2	0.41
九州・沖縄	6	0.62
全国	63	1.11

出典：環境省，“一般廃棄物処理有料化の手引き令和3年4月《改訂案》”

※「排出量単純比例型」とは、一般廃棄物の排出量に応じて排出者が手数料を負担する料金体系であり、最も簡便で住民に分かりやすいとされている。

2) 隣接自治体の状況

両市町と隣接するさいたま市、川越市、桶川市、蓮田市、川島町の有料化の状況を、表7に整理した。

家庭系粗大ごみについては、両市町を含むいずれの市町も有料化を導入している。これ以外では、蓮田市が家庭系可燃ごみ及び不燃ごみについて有料化を導入している。なお、蓮田白岡衛生組合は指定ごみ袋制度を採用しており、料金は表6（蓮田白岡衛生組合）のとおりである。

表 7 隣接自治体における有料化の状況

自治体\区分		家庭系ごみ			
		可燃	不燃	資源	粗大
隣接自治体	さいたま市				◎
	川越市				◎
	桶川市				◎
	蓮田市	◎	◎		◎
	川島町				◎
上尾市					◎
伊奈町					◎

3) ごみ処理経費について

(1)上尾市

上尾市のごみ処理経費については、平成 28 年度までおおむね横ばいであったが、平成 29 年度より増加傾向にある。平成 31 年度に減少したものの、令和 2 年度には増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染症蔓延によるライフスタイルの変化や経済活動の縮小も一因である可能性が考えられる。

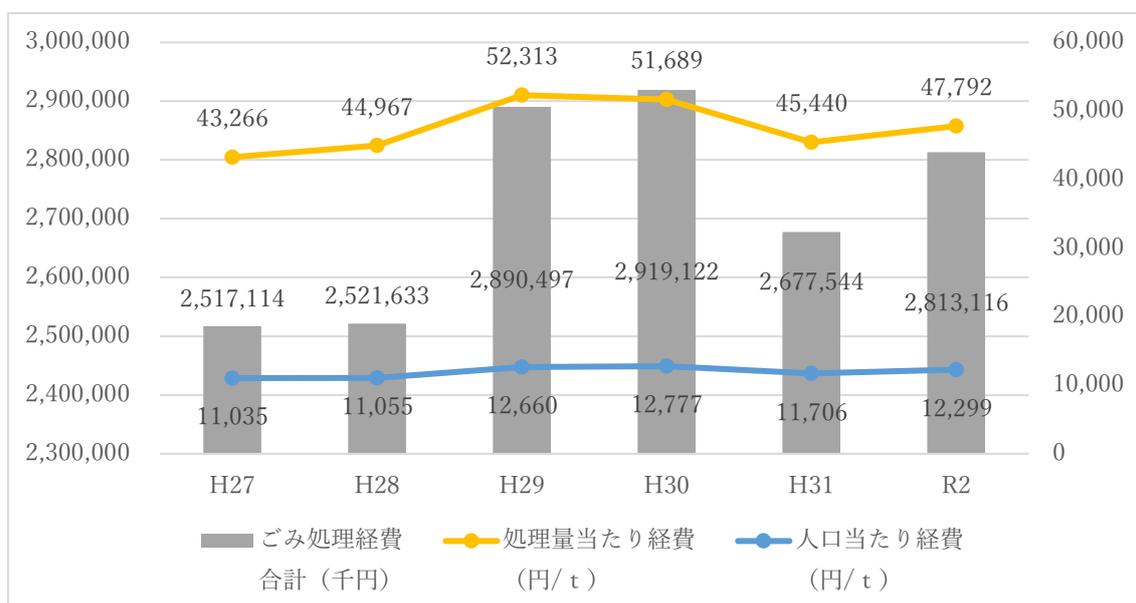


図 14 上尾市のごみ処理経費の推移

表 8 上尾市のごみ処理経費の推移

年度	人口 (人)	ごみ処理総量 (t)	ごみ処理経費 合計 (千円)	処理量当たり 経費 (円/t)	人口当たり 経費 (円/t)
H27	228,109	58,177.38	2,517,114	43,266	11,035
H28	228,108	56,077.33	2,521,633	44,967	11,055
H29	228,314	55,253.47	2,890,497	52,313	12,660
H30	228,466	56,474.37	2,919,122	51,689	12,777
H31	228,724	58,925.11	2,677,544	45,440	11,706
R2	229,265	58,861.54	2,813,116	47,792	12,299

また、上尾市の地域リサイクル事業の処理経費については、以下のとおりである。平成 30 年度より資源化量が減少傾向にあり、令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染症蔓延により、団体の活動が縮小されたことが一因である可能性が考えられる。

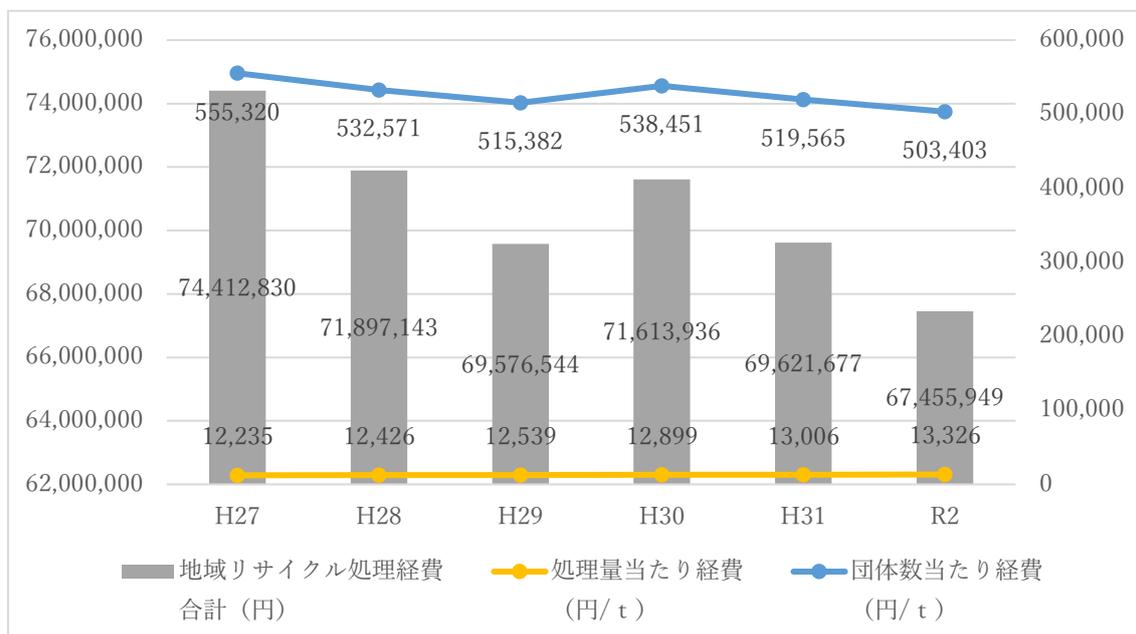


図 15 上尾市の地域リサイクル処理経費の推移

表9 上尾市の地域リサイクル処理経費の推移

年度	団体数 (件)	地域リサイ クル総量 (t)	地域リサイク ル処理経費 合計 (円)	処理量当たり 経費 (円/t)	団体数当たり 経費 (円/t)
H27	134	6,082	74,412,830	12,235	555,320
H28	135	5,786	71,897,143	12,426	532,571
H29	135	5,549	69,576,544	12,539	515,382
H30	133	5,552	71,613,936	12,899	538,451
H31	134	5,353	69,621,677	13,006	519,565
R2	134	5,062	67,455,949	13,326	503,403

※地域リサイクル処理経費＝報奨金決算額 + 委託料決算額の計

※報奨金額：1 kg 当たり 2 円（紙類のみ）

(2)伊奈町

伊奈町のごみ処理経費については、平成 31 年度より増加傾向にある。令和 2 年度、新型コロナウイルス感染症蔓延によるライフスタイルの変化や経済活動の縮小も一因である可能性が考えられる。

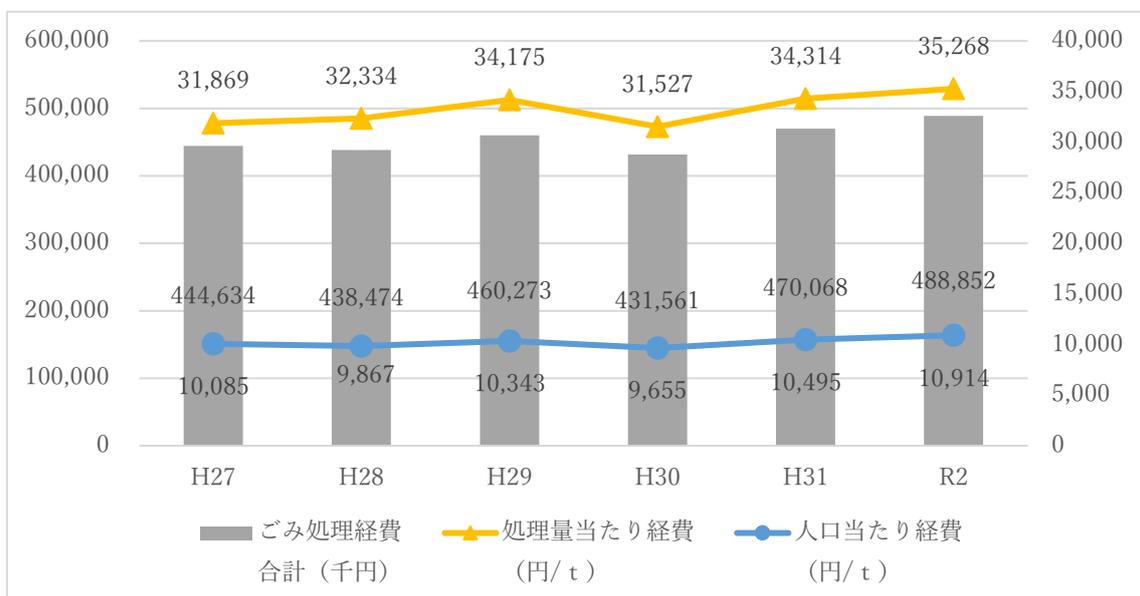


図 16 伊奈町のごみ処理経費の推移

表 10 伊奈町のごみ処理経費の推移

年度	人口 (人)	ごみ処理総量 (t)	ごみ処理経費 合計 (千円)	処理量当たり 経費 (円/t)	人口当たり 経費 (円/t)
H27	44,088	13,951.92	444,634	31,869	10,085
H28	44,437	13,560.82	438,474	32,334	9,867
H29	44,501	13,468.29	460,273	34,175	10,343
H30	44,699	13,688.83	431,561	31,527	9,655
H31	44,789	13,699.06	470,068	34,314	10,495
R2	44,790	13,861.09	488,852	35,268	10,914

また、集団回収の経費については、以下のとおりである。平成 30 年度より減少傾向にあり、令和 2 年度については、新型コロナウイルス感染症蔓延により、団体の活動が縮小されたことが一因である可能性が考えられる。

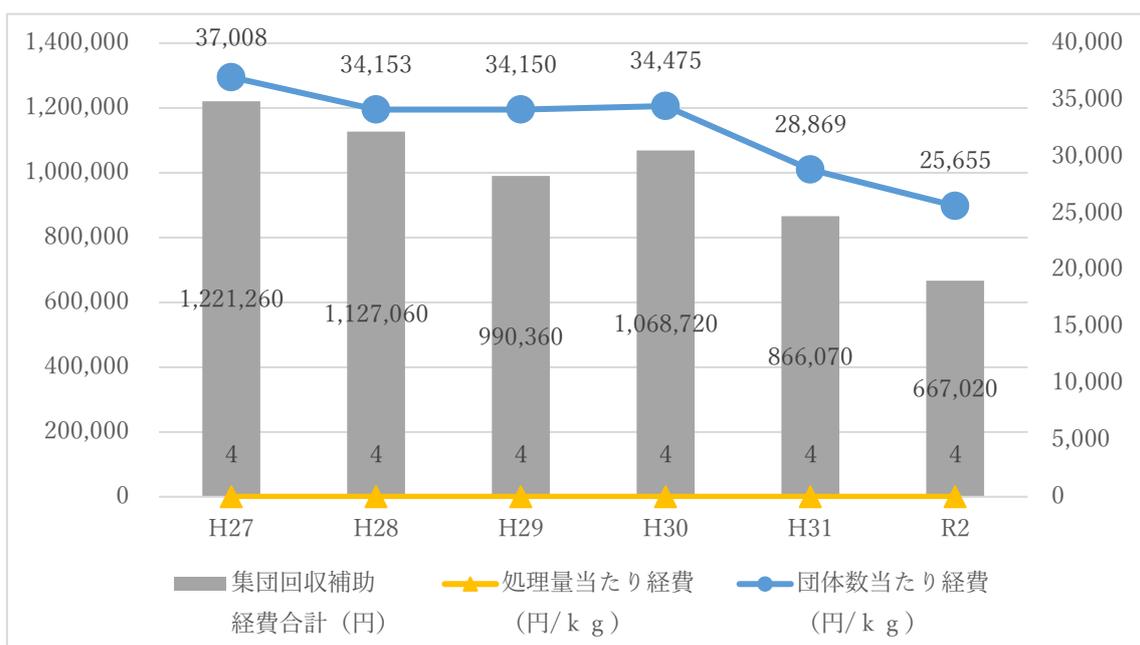


図 17 伊奈町の資源回収団体奨励補助経費の推移

表 11 伊奈町の資源回収団体奨励補助経費の推移

年度	団体数 (件)	資源化量 (t)	集団回収補助 経費合計 (円)	処理量当たり 経費 (円/t)	団体数当たり経 費 (円/t)
H27	33	305.315	1,221,260	4,000	37,008
H28	33	281.765	1,127,060	4,000	34,153
H29	29	247.590	990,360	4,000	34,150
H30	31	267.183	1,068,720	4,000	34,475
H31	30	216.520	866,070	4,000	28,869
R2	26	166.755	667,020	4,000	25,655

※資源回収奨励補助経費＝補助金決算額のみ

※補助金額：1 kg 当たり 4 円(古紙類、びん類、繊維類、空き缶、金属類)

4) ごみ処理の有料化の意識調査について

小学生及び保護者を対象としたアンケートを実施し、有料化に関する設問を設けている。なお、小学生及び保護者を対象としたアンケート調査結果については資料に示す。

また、上尾市では平成 30 年度に市民意識調査を行っており、「ごみ袋の有料化」についての設問では、「有料化が必要である」が 35.9%、「有料化する必要はない」が 52.7%、「その他」8.5%、無回答が 2.9%であった。

5) まとめ

有料化については、住民の負担に直接関係するものであることから、ごみ減量及び経費の効果を見極めながら検討する必要がある。そのため、他市町村における有料化の導入実績や課題の対策を研究し、今後も引き続き両市町で検討していく。

資料 小学生及び保護者を対象としたアンケート調査の実施

検討会議の意見を踏まえ、両市町の小学4年生及びその保護者に向けてごみ処理の意識や実態を把握するためのアンケート調査を実施した。

(1) 実施期間

令和3年5月26日(水)から令和3年6月9日(水)

(2) 対象者

伊奈町 小針小学校 78名

上尾市 上平小学校 58名、富士見小学校 103名(上尾市計 161名)

合計 239名

(3) 調査結果

問1 あなたの住所や家族構成についてお聞かせください。(令和3年4月1日現在)

【集計結果】

対象	世帯数	大人	小学生以上	乳幼児	合計
伊奈町 小針小学校 4年生	78	161	153	19	333
上尾市 上平小学校 4年生	58	116	114	10	240
上尾市 富士見小学校 4年生	103	219	185	18	422

問1 あなたの住所や家族構成についてお聞かせください。 (令和3年4月1日現在)	伊奈町	上尾市		上尾市 合計	総合計
	小針	上平	富士見		
1 戸建て	62	54	58	112	174
2 集合住宅	13	3	44	47	60

【コメント】

回答者の家族構成について、世帯当たり人員は小針小学校(伊奈町)では4.3人/世帯、上平小学校及び富士見小学校(上尾市)では4.1人/世帯であった。うち、小~大学生は1.8~2.0人/世帯、乳幼児は0.2人/世帯であった。

小学生のお子さんがある世帯を対象としているため、統計局調査(令和2年1月1日時点)の全国平均2.2人/世帯、埼玉県平均2.2人/世帯と比較すると、本調査の世帯人員は多い。

住宅については、小針小学校(伊奈町)及び上平小学校(上尾市)はほとんどが戸建てであり、富士見小学校(上尾市)は戸建てと集合住宅がほぼ半々である。

問2 ニュースや身の回りの話で、聞いたことのあるごみの話題にをつけてください。

(複数回答可)

【集計結果】

問2 ニュースや身の回りの話で、聞いたことのあるごみの話題	伊奈町	上尾市		上尾市 合計	総合計
	小針	上平	富士見		
1 海洋プラスチック問題	65	45	89	134	199
2 レジ袋有料化	75	55	102	157	232
3 リチウムイオン電池の発熱	35	37	58	95	130
4 駅やコンビニのごみ箱への家庭ごみ持ち込み	49	36	60	96	145
5 ごみ集積所の管理	31	23	35	58	89
6 ごみ屋敷問題	62	42	80	122	184
7 上尾市・伊奈町のごみ焼却場の老朽化	19	13	26	39	58
8 最終処分場のひっ迫	23	11	29	40	63

【コメント】

「レジ袋有料化」や「海洋プラスチック問題」など時勢柄タイムリーなテーマや、「ごみ屋敷問題」の認知度が高かった。対して「上尾市・伊奈町のごみ焼却場の老朽化」と回答した人は全体で24.3%しかなく、認知度が低かった。

問3 一週間のうちに、ご家庭で出しているごみの量が多い順に順番(1~6)を付けてください。

【集計結果】

●小針小学校

問3 一週間のうちに、ご家庭で出しているごみの量が多い順	伊奈町 小針					
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目
1 紙ごみ	13	28	21	8	7	0
2 生ごみ	16	24	25	8	5	0
3 プラスチックごみ	49	19	8	2	0	0
4 缶やびん	0	0	4	18	54	2
5 ペットボトル	0	6	19	41	10	2
6 その他	0	1	1	1	2	74

●上平小学校

問3 一週間のうちに、ご家庭で出しているごみの量が多い順	上尾市 上平					
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目
1 紙ごみ	20	14	11	9	3	1
2 生ごみ	16	17	13	7	3	2
3 プラスチックごみ	20	17	17	2	2	0
4 缶やびん	0	1	7	15	34	1
5 ペットボトル	2	9	9	25	12	1
6 その他	0	0	1	0	4	53

●富士見小学校

問3 一週間のうちに、ご家庭で出しているごみの量が多い順	上尾市 富士見					
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目
1 紙ごみ	30	25	24	15	8	1
2 生ごみ	42	26	19	5	7	4
3 プラスチックごみ	25	37	22	13	6	0
4 缶やびん	1	12	14	30	39	7
5 ペットボトル	2	3	23	36	34	5
6 その他	3	0	1	4	9	86

【コメント】

伊奈町では、「プラスチックごみ」を1番目と回答した人が最も多く、2番目には「紙ごみ」や「生ごみ」という回答であったことに対して、上尾市では、1番目～3番目に「紙ごみ」、「生ごみ」、「プラスチックごみ」という回答であった。

問4 ご家庭でのごみの分け方について、当てはまるもの1つにをつけてください。

【集計結果】

問4 ご家庭でのごみの分け方について		伊奈町 小針	上尾市 上平 富士見		上尾市 合計	総合計
1	ごみの種類ごとに別々の袋に分けている	78	54	95	149	227
2	同じごみ箱に入れて、出す際に分けている	0	0	2	2	2
3	あまり分けていない	0	0	3	3	3
4	その他	0	0	1	1	1

【コメント】

ほとんどの人が「ごみの種類ごとに別々の袋に分けている」と回答した。

問5 ごみの分別について、ご家庭での考えに近いもの1つにをつけてください。

【集計結果】

問5 ごみの分別について、ご家庭での考えに近いもの		伊奈町 小針	上尾市 上平 富士見		上尾市 合計	総合計
1	地球環境を守るために協力している	42	22	57	79	121
2	みんなが守っているルールだから協力している	23	24	28	52	75
3	家の中がきれいになるから協力している	1	4	2	6	7
4	市や町の収入になるならと資源ごみの回収に協力している	5	4	11	15	20
5	分けるのが面倒、分けなくても良いならその方が良い	7	0	2	2	9
6	協力したくない	0	0	1	1	1
7	その他	0	0	0	0	0

【コメント】

いずれの小学校も「地球環境を守るために協力している」が最も多く、次いで「みんなが守っているルールだから協力している」の順であった。「分けるのが面倒、分けなくても良いならその方が良い」や「協力したくない」と回答した人は極めて少数であった。

問6 ごみ問題についてのご意見やご要望、アイデア等がございましたら、お書きください。

【集計結果】

問6 自由記載（小針小）
使い捨てるものを減らすように、一人ひとりが意識していけたらいいと思う。
学校からの手紙や町からの広報など紙での配布を減らしてもいいのではないかと。電子版にしたほうがいつでもみられるのではないかと。ゴミ袋を指定されると、自分の家のごみ量に合わせたサイズではないのかもしれないことから心配。袋の無駄遣いは避けたいが、袋にたまるまでためておくことは衛生上気になる。
アルミ缶やペットボトルの蓋などが昔から車いすなどになるので別の日を設けて集めた方が良くはないかと。
ペットボトル再生利用。
ごみ集積所がカラスに荒らされるため、袋型の網を配布してほしい。
プラスチックごみを出しても人の手で、より分けているということを知った。ただでさえそれで多大なお金がかかっているのに、その分けたもののほとんどが燃やされているということも聞いた。 実に税金の無駄遣いである。 それならプラスチックごみを燃えるゴミにしてはどうなのか。 リサイクルできるのであれば、分別するがリサイクルできないのは分別の努力がむなしい。
幼児期から環境やごみに関する教育をもっと積極的に取り入れていくべきではないかと。ゴミについて学べるホテルやテーマパークみたいなものがあるのもいいのではないかと。海外のリサイクル術なども参考してもらいたい。
ゴミ袋有料化はコロナ禍において愚策である。 新しいごみ処理施設ができれば指定ゴミ袋を購入し利用する案があるのか。 もし、有料化するのであれば救済措置は不要。 負担を減らしたいのなら各々がごみ減量の努力をするべき。

問6 自由記載（上平小）
ゴミ収集車に、毎日ゴミを出す市民に向けてメッセージをかく。イラストカーにする。Ex)残さず食べて生ゴミを減らそう。
もっとリサイクルをすればいい。
戸建の場合、自分の家の前に自分の家のゴミを捨てるようになったら、近所の目もあり、分別されるのではないのでしょうか。ごみ集積所の面積と世帯数を自治体で条例として決めてほしいです。
ゴミになったときの姿を思い浮かべて商品を購入する。不要なものは安いからといって買わない。環境汚染も考えてシャンプー、洗剤etcを使う（分解されるものを使う）。生ごみは土にかえす。
上尾市はプラスチックごみを、もえるごみとしてすてているのでそれを資源ごみにできるか。
種類によってゴミ袋の色を変える。自分たちでつづす。
ごみ置き場のルールが地区ごとにバラバラで維持が大変。集荷日を間違えたゴミを引き取りにこない人がほとんど、次のそのゴミの集荷日までずっとそのままじゃまになったことも。
地球がほろびないようにごみの分別をがんばりたい。
購入時のプラスチックトレーがいつでもついてきて捨てるのも運ぶのも負担である。環境には害が少ないから当たり前のようにしているのだろうか。
食品トレーがかさばりスーパーへ持っていき返品保管するのも大変。販売時にトレー無しで売り場に出ていると良い。スーパーへリサイクル（ペットボトルや食品トレー等）を持参したらポイント（サービス）等がつくようにするとリサイクルへ持ち込む人が増えそう。

問6 自由記載（富士見小）
ごみをなるべく減らすと良いと思う。
ごみ置き場について、市で公共の場（公園等）の一部に設置してくれると助かる。例えば、上尾大谷地区のように。カラス対策、散乱の心配が多少減ると助かる。
ごみが増えないように地球環境を守るためリサイクルがもっと進んでほしい。
スーパーで設置されているリサイクルBOXをコンビニやドラッグストアにも設置し、リサイクルしやすい仕組みを作る。生ごみは専用の袋を販売し、各家庭の前へ置く（出す）ようにする。コンポストの補助の申請期間を通年にし、予算も上げる。
ごみ処理についてのアンケートというのなら①WEBでアンケートすべき（回収後のこの紙の処理を考えると担当者の手間とゴミが出てしまう為）②ホッチキスでとめた紙が問題（A3両面刷りで対応可）（1部ずつ取っていく手間、もちろん取ってからシュレッダーですよ）③集計結果はぜひWEBでお願いします（子どもたちは1人1台タブレットを持っています。アカウントも配布済みです）
缶・ビン・ペットボトル・紙類など、月1回や2回の回収ではなく、週1回の回収だと嬉しいです。
カラスがこないようにしたいです。
ペットボトルを少なくして昔みたいに量り売りにすればよい。コロナ禍でテイクアウトでプラスチックや発泡スチロールで持ち帰るが、なるべく入れ物を持って買いに行くように。腹八分目をこころがけ、料理をたくさん作りすぎない。余らせない。買い物も買いすぎない。
スーパーの肉や魚のトレイをなくしてもらいたい。トマトなどもプラスチック容器に入れなくてよい。
ごみの回収は平日だけでなく土日も回収してほしいです。土日回収していただければリサイクル品も多く集まると思います。
ごみ置き場をきれいにしておくとみんなが「きれいにしておかない」という意識が芽生えます。うちのマンションは大家さんがいつもごみ置き場をきれいにしてくれているので酷いごみの捨て方をする人がいません。分別しやすいようにごみの置き場を分けて分かりやすくすると良い。
ポイ捨て禁止のポスターを通学路や駐車場の見やすいところに貼るとポイ捨てが減ると思います。
わたしはカラスがゴミをあさらないようにネットを工夫したほうが良い。
以前、分別の細かい地域に住んでいたが、細かすぎて家の中がゴミ袋だらけになった。上記で「分けるのが面倒」と答えたが、ある程度おおざっぱな方が積極的に協力できる人が増えると思う。今の上尾市の分別はちょうどいいと思います。
もっと分別したものを回収してくれる場所を増やしてほしい。月1回では少ない。
プラスチックごみを捨てて（ポイ捨て）はいけない、と強く言う。理由もつけて。
市で集める分別ごみの中に食品トレーや牛乳パックの日というのができれば、分別しやすい。大型スーパーで集めているが、そこまで持っていくのが面倒で捨ててしまっている。
会社や企業ごとにエコに対する商品を促進させ、それを支援する法律を強化する。
資源ごみの回収場所や回収の日にちを増やしてほしいです。

問7 ごみの収集について、考えに近いもの1つに☑をつけてください。

①ごみの収集頻度について

【集計結果】

問7-1 ごみの収集頻度について		伊奈町	上尾市		上尾市 合計	総合計
		小針	上平	富士見		
1	収集日や回数を増やしてほしい	35	21	48	69	104
2	今のままで良い	41	31	53	84	125
3	収集日や回数を減らしても良い	0	0	0	0	0

●小針小学校

収集日を増やしてほしいもの（小針小）							
燃えるごみ	4	カン	4	ペットボトル	9	電池	2
プラスチック	21	ビン	1	ダンボール	1	電球	1
粗大ごみ	1	不燃	1	衣類	1		
その他	ペットボトルと一緒にビンを回収してほしい						

●上平小学校

収集日を増やしてほしいもの（上平小）							
燃えるごみ	6	カン	8	ペットボトル	3	紙	4
プラスチック	1	ビン	7	ダンボール	3	金属	1
資源ごみ	1	不燃	1	衣類	1		

●富士見小学校

収集日を増やしてほしいもの（上平小）							
燃えるごみ	4	カン	21	ペットボトル	13	紙	8
可燃物以外すべて	1	ビン	7	ダンボール	9	金属	4
資源ごみ	5	不燃	2	衣類	3	電池	1
ガラス	6						

【コメント】

いずれの小学校も「今のままで良い」が最も多かったが、次点の「収集日や回数を増やしてほしい」と拮抗していた。

「収集日や回数を増やしてほしい」品目については、プラスチック製容器包装の分別を行っている伊奈町（小針小学校）では、「プラスチック」と回答した人が最も多かった。

プラスチック製容器包装の分別を行っていない上尾市（上平小学校及び富士見小学校）では、いずれも「カン」と回答した人が最も多かった。

②分別のしやすさについて

【集計結果】

問7-2 分別のしやすさについて		伊奈町	上尾市		上尾市 合計	総合計
		小針	上平	富士見		
1	分別をしなくて済む方が良い	18	1	3	4	22
2	もう少し分別が少ない方が良い	21	6	2	8	29
3	今のままで良い	35	45	90	135	170
4	もう少し分別が細かくても良い	2	2	6	8	10
5	もっと分別しても良い	1	0	0	0	1

【コメント】

伊奈町（小針小学校）では、「今のままで良い」が最も多く、次いで「もう少し分別が少

ない方が良い」、「分別をしなくて済む方が良い」の回答があった。上尾市（上平小学校及び富士見小学校）では、ほとんどの回答者が「今のままで良い」と回答している。

③ごみ集積所までの距離について

【集計結果】

問7-3 ごみ集積所までの距離について		伊奈町	上尾市		上尾市 合計	総合計
		小針	上平	富士見		
1	集積所までもっと近い方が良い	7	8	1	9	16
2	もう少し集積所が近い方が良い	9	7	6	13	22
3	今のままで良い	60	38	92	130	190
4	もう少し集積所が遠くても構わない	1	0	1	1	2
5	集積所が遠くても構わない	0	1	0	1	1

【コメント】

いずれも「今のままで良い」がほとんどであった。

④ごみ集積所の管理について

【集計結果】

問7-4 ごみ集積所の管理について		伊奈町	上尾市		上尾市 合計	総合計
		小針	上平	富士見		
1	不満がある	12	8	7	15	27
2	多少不満がある	17	12	6	18	35
3	特に不満はない	48	33	86	119	167

主な不満内容（小針小）	
近所の家の前なので公園前などにできれば。	
網に重りを置かないとカラスにいたずらされるので、住民の意識化のための対策が必要。	
地区外から捨てに来る人がいる。	
ごみネットがいっぱいになる。カラス問題。	
ペットボトルや缶等のポイ捨て。	
勝手に捨てる人がいる。古紙が盗まれる。	
重り用のペットボトルが不衛生。	
分別のルールを守らない人がいる。	
カラスに荒らされる。有料化してしまうと片づけをした際のごみ袋代は誰が出すのか。不満を感じる。	
集積所までの距離が遠い。	
カラスに荒らされ、衛生的に不満。	
ごみ出しのルールを守らない人がいる。	
猫がごみを荒らす。	

主な不満内容（上平小）
ゴミにかけるあみがボロボロ、ゴミの出し方が悪い人がいる。
家と集積所まで歩いて5分くらいかかるので、ゴミを毎回出すのが大変で、かなり不満。もっと近い場所に集積所を作ってほしい。集積所が遠いから、朝にゴミを出さずに夜出している人もいるので、もっと考えたほうがよいと思う。
他の班の人も捨ててあふれてしまっている→カラスに荒らされる。
町内会が管理していると主張するが、市民税を払っている以上、町内会にどうこう言われる話ではない。
面積に対して世帯数が多すぎてゴミがネットから出てしまい、交通のさまたげ、カラスに荒らされていて大変困っています。
分別されていないで回収されずに困っているごみが時々ある。
約束を守らない人がいる。ごみを散らかしても片付けない。
せまいのであふれて道路にまで出ている。BOX型のふた付きに特定してほしい。
当番制だが仕事終わってから掃除に行くけど夕方になってしまう。近所のご年配の方々からさぼっていると悪く言われる。昼頃掃除に行くことは不可能で肩身が狭い。前日に当番表がポストへ入れられるため休みの希望だすこともできない。

主な不満内容（富士見小）
生ごみが見えるように捨てるとカラスに荒らされて道路やごみ集積所の周りがすごく汚くなる。ネットをかけていてもおさまっていないゴミをつつき、ネットから出してゴミを荒らしていた。
カラスに荒らされるので、網ではなくBOXにしてほしいです。
1人世帯も多人数世帯も同じ割合での負担がある。
ちゃんとしたごみ箱を設置してほしい。
収集日の品でないものを捨てている人がいる。また、外国の方だと思いますが、袋にいれず食べ残しものを直接捨てていたりする。
収集日ではない物を出しそのままにする人がいる。
車道沿いで歩道もほぼなく、狭い。
ふたが無いので、前日夜はゴミを出せない。

【コメント】

いずれも「特に不満はない」がほとんどであった。

問8 ごみの有料化は指定されたごみ袋を購入して頂き、手数料としてごみ処理費用の一部を負担して頂くものですが、有料化について考えに近いものにをつけてください。

（複数回答可）

【集計結果】

問8 有料化について（複数回答可）	伊奈町	上尾市		上尾市 合計	総合計
	小針	上平	富士見		
1 現在のままで良い	55	42	68	110	165
2 税金を納めているので実質有料化されているように感じる	15	8	15	23	38
3 処理費用が徴収されるので、公平感を感じる	3	4	5	9	12
4 生活困窮者などへの救済措置が別途必要だと思う	10	8	21	29	39
5 ごみ減量・分別を積極的に進めると思う	10	6	15	21	31
6 その他	4	3	3	6	10

有料化についてのご意見（小針小）
ごみ袋が有料化になるなら分別せず、袋1枚ですてられるようにすべき。
ポイ捨てや不法投棄を懸念。税金をアップした方がよいのではないか。
不法投棄が増えるのではないか。
ルールを守らない人が今以上に増えるのではないか。

有料化についてのご意見（上平小）	
袋が有料化されても分別しない人はしない。逆に今より分別せずすると思う。	
ゴミの焼却場の老朽化の問題があるとのことなので、もし新しくする場合の費用等にも使われるとしたら有料化されても仕方ないことだと思う。	
もうすでに指定されたゴミ袋ではありませんがゴミ袋を買って分別しているので有料化になってもなくてもゴミ袋を買っているので変わりありません。	

有料化についてのご意見（富士見小）	
現在もごみ袋を買っています。なので、有料化の指定ごみ袋を作ってくれるほうがむしろ良い。	
指定された袋の金額が今より高くならなければ良い。	
有料化には反対です。	

【コメント】

いずれも「現在のままで良い」がほとんどであった。

問9 資源ごみの分別についてお伺いします。

①ご家庭での資源ごみの分別はどの程度できていますか。近いもの1つにをつけてください。

【集計結果】

問9-1		伊奈町			上尾市	
ご家庭での資源ごみの分別はどの程度できていますか		小針	上平	富士見	上尾市 合計	総合計
1	出来ている	40	30	74	104	144
2	ある程度出来ている、ものによっては出来ている	37	27	26	53	90
3	あまり出来ていない	0	0	1	1	1
4	出来ていない	0	0	0	0	0

【コメント】

いずれも「出来ている」が最も多く、次いで「ある程度出来ている、ものによっては出来ている」であった。

②問9①で「ある程度出来ている、ものによっては出来ている」、「あまり出来ていない」、「出来ていない」にをした方に質問です。ご家庭での分別が難しい原因としてあてはまるものにをつけてください。（複数回答可）

【集計結果】

問9-2		伊奈町			上尾市	
ご家庭での分別が難しい原因としてあてはまるもの（複数回答）		小針	上平	富士見	上尾市 合計	総合計
1	分別ルールが分かりづらい	11	4	5	9	20
2	分けることが難しい	27	17	18	35	62
3	肉体的に負担だから	1	1	0	1	2
4	保管しておくことが負担だから	4	7	6	13	17
5	量が出ないから	1	7	4	11	12
6	袋がもったいないから	2	1	3	4	6
7	面倒くさいから	5	7	2	9	14
8	その他	2	1	4	5	7

その他のご意見（小針小）	
食材が付着してるアルミの分別が困る。	
汚れているプラごみを捨てる際に洗う必要があることから資源の無駄遣いである。	

その他のご意見（上平小）	
私しか分別せず、家族は何でも1つの袋に入れる。分けても缶・ビンくらい。	
回収の目が少ない。	

その他のご意見（富士見小）	
缶詰の缶はアルミ缶なのか不燃ゴミなのか分かりづらい。	
紙袋に入れて…とあるが紙袋がない。	
衣類についているファスナーなど（服、バッグなど）。	
プラスチックと缶ががっちりハマってしまっていたり、どうやってもはずれないので。	

【コメント】

伊奈町（小針小学校）では、「分けることが難しい」がもっと多く、次いで「分別ルールが分かりづらい」であった。上尾市（上平小学校及び富士見小学校）では、分けることが難しい」が最も多かった。

問10 プラスチック製容器包装（例：レジ袋、食品包装用のラップフィルム・トレー、シャンプー等の容器、菓子等の袋）のリサイクルについて、あなたの意見に近いもの1つにをつけてください。

【集計結果】

問10 プラスチック製容器包装のリサイクルについて		上尾市			上尾市 合計	総合計
		伊奈町 小針	上平	富士見		
1	分別してリサイクルするべきだ	11	7	14	21	32
2	焼却して、廃熱を有効利用するべきだ	16	9	23	32	48
3	住民の負担がかからない方法を選ぶべきだ	10	11	14	25	35
4	処理費用が安い方法を選ぶべきだ	2	1	2	3	5
5	環境への影響が少ない方法を選ぶべきだ	36	26	45	71	107
6	その他	1	3	2	5	6

その他のご意見（小針小）	
特に何も考えてない。ルールに従うのみ。	

その他のご意見（上平小）	
そもそも最低限の包装でいい。必要の無い包装を無くして環境に良い処理方法で。	
個人の努力も大切だが、企業はプラスチックゴミを少なくする努力をしてほしい。	
リサイクルしたいが、その場合回収日を多くしてほしい。	

その他のご意見（富士見小）	
そもそもトレーやシャンプー容器、菓子等の袋をプラスチックではないものにすべきだと思う。特にトレーは廃止してもいい。	
汚れを容易に取り除けるトレーはリサイクル、汚れを取り除くのが困難なラップフィルムやシャンプー等の容器、菓子等の袋は焼却。	

【コメント】

いずれも「環境への影響が少ない方法を選ぶべきだ」が最も多く、「処理費用が安い方法を選ぶべきだ」と回答した人は極めて少なかった。